

令和4年度
立木第1回

入札のご案内

実施年月日：令和5年1月27日（金曜日）
場所：東京神奈川森林管理署 入札室
日時：13時30分締切 即時開札

神奈川県相模原市 西志田山国有林 皆伐1件

東京神奈川森林管理署

〒254-0046 神奈川県平塚市立野町38-2
TEL 0463-32-2867

本物件は、持続可能な森林経営が営まれ、伐採に当たって森林に関する法令に照らし手続きが適切になされた森林の立木である。

公 売 公 告

令和4年12月26日

分任契約担当官

東京神奈川森林管理署長 伊藤博通

下記のとおり立木の一般競争入札を実施します。販売物件明細書及び国有林野事業林産物売買契約約款を参照し**現物熟覧**のうえ、国有林野の産物売払規程（昭和25年5月17日農林省告示第132号）及び関東森林管理局署等競争契約入札心得を厳守し入札して下さい。

記

1 入札及び開札の日時

令和5年1月27日（金）

入札開始 13時20分

締切 13時30分 締切後即時開札

2 入札及び開札の場所

東京神奈川森林管理署 入札室

3 郵便入札

認めます。

(1) 送付場所 〒254-0046

神奈川県平塚市立野町38-2 東京神奈川森林管理署

(2) 到着期限 令和5年1月26日（木） 17時00分必着。

*上記の期限以後、到着したものは、無効とします。

(3) その他留意事項

ア 封筒を二重にして内封筒に入札書を入れ、外封筒には「**立木公売入札書在中**」と**朱書**し、書留または配達証明でお送り下さい。

イ 開札の結果、不落となった場合にはただちに再度入札を実施しますが、その際、郵便による入札者は再度入札には参加できません。

4 入札物件

(1) 次の事項については、別添「入札物件一覧表」のとおりです。

ア 売払番号

イ 物件所在地

ウ 伐採種（皆伐・主伐）

- エ 国有林・分収造林・分収育林・官行造林の区分
- オ 搬出期間
- カ 樹種・数量・収穫面積

(2) 物件毎の特約事項・入札条件等については、別添「**特約事項**」「**分収育林についてのご注意**」を参照して下さい。

5 入札参加者の資格

令和2年度から令和6年度の林産物の売払いに係る「一般競争参加資格確認通知書（林産物の売払）」の交付を各森林管理局長より受けている者に限ります。

但し、次の事項に該当する者は参加することが出来ません。

- (1) 予算決算及び会計令第70条に該当する者。
- (2) 予算決算及び会計令第71条に該当する者。
- (3) 関東森林管理局長から一般競争参加資格を停止されている者。

6 入札保証金

免除します。

但し、落札者が契約を結ばないときは、入札金額の100分の5に相当する違約金を徴収します。なおこの場合、競争参加資格の取り消し、又は付与しないことがあります。

7 契約保証金

免除します。

8 入札金額及び消費税

(1) 入札金額は消費税抜きの金額を記入して下さい。誤って消費税を加算した金額を記入した場合でも入札は有効とし、入札後には誤りの訂正及び取消は認めないので注意願います。

(2) 入札書に記載された金額に消費税相当額10%を加算した金額（円未満の端数切捨て）をもって落札金額及び契約金額とします。

なお、契約締結以後、当該契約において特に契約書等で金額が明示されているものを除き、当該契約に係る違約金、延滞金、率で表わされるものについては、全て消費税額が加算された総契約額が対象となります。

9 入札における留意事項

(1) 代理人の入札への参加

ア 委任状の提出

競争参加有資格者本人が入札当日出席せず代理人が入札に参加する場合は、「委任状」（別紙1-1）の提出が必要となり、委任状の提出のない者は入札

に参加することはできません。社内の従業員等が入札に参加する場合も委任状が必要です。

なお、年間を通じて代理人に委任する場合は、当該年度を有効とする「委任状」（別紙1-2）を提出すれば、入札の都度委任状を提出する必要はありません。

イ 入札書

「入札書」（別紙2）のとおり、入札者の住所、商号又は名称、代表者氏名を記入するとともに代理人氏名の記入が必要となります。

なお、この場合には入札者の代表者印は不要です。

(2) 無効の入札

次の各号の一に該当する入札は無効とします。

ア 競争に参加する資格を有しない者のした入札

イ 委任状を持参しない代理人のした入札

ウ 所定の入札保証金の納付又は入札保証金に代わる担保の提供をしない者のした入札

エ 記名を欠く入札

オ 金額を訂正した入札

カ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札

キ 明らかに連合によると認められる入札

ク 同一事項の入札について同一人が2通以上なした入札又は入札者若しくはその代理人が他の入札者の代理をした入札

ケ 入札時刻に遅れてした入札

コ 暴力団排除に関する誓約事項（別紙3）について、虚偽又はこれに反する行為が認められた入札

サ その他入札に関する条件に違反した入札

(3) 落札者の決定

ア 開札は、指定した場所及び日時に、入札者の面前で行い、予定価格以上で最高の価格を持って入札した者を落札者とします。ただし、落札となるべき入札をした者が2名以上のときは、直ちに「くじ」で落札者を決定します。

イ 落札宣言後は、錯誤等を理由に入札無効の申し出があっても、受理しません。また、どのような事由があっても落札を無効にすることはできません。

10 契約の成立及び締結期限

(1) 契約の締結は、契約書の作成を必要とし、双方記名押印した時に成立とします。

(2) 契約の締結期限は令和5年2月7日（火）までとします。

11 代金の納付期限

代金の納付期限は、**契約締結日から起算して20日以内**とします。

1 2 代金の延納

- (1) 1 件の売払契約代金が 1 5 0 万円以上の物件において、国の所有に属する物品の売払代金の納付に関する法律（昭和 2 4 年法律第 1 7 6 号）の定めるところにより認めます。（年利 0. 5 9 %）

延納利息代金の計算方法は以下のとおりです。

延納利息代金 = (契約代金 × 延納期間 × 延納利率) ÷ 3 6 5 日

ただし、分収林契約者の持分に係る代金については、延納は認めません。

- (2) 延納担保の提供期限は契約締結日から起算して 2 0 日以内とします。
(3) 延納期限は、1, 0 0 0 m²未満は 6 ヶ月以内、1, 0 0 0 m²以上は 1 0 ヶ月以内とします。

1 3 物件の引渡

- (1) 物件の引渡期限は、国有林野の産物売払規程第 3 4 条第 1 項及び国有林野事業林産物売買契約約款第 7 条第 1 項に基づき、代金の全部又は代金延納担保の提供があった日から 1 5 日以内とします。

- (2) 物件の引渡は、買受人立会による引渡しをしないことについての買受人の同意を得られる場合には、国有林野の産物売払規程第 3 4 条第 3 項第 2 号及び国有林野事業林産物売買契約約款第 7 条 3 項に基づき、みなし引渡を特約することも可能です。この場合、代金の全部の納入のあったとき、または代金延納担保の提供があった時に引渡しがあったものとみなします。金融機関の発行する領収書等を東京神奈川森林管理署へ必ず提示してから搬出して下さい。

- (3) 引渡を受けた時は、国有林野の産物売払規程第 3 5 条に基づき、引渡領収書を東京神奈川森林管理署長に提出して下さい。

1 4 各規程等の閲覧場所

- (1) 販売物件明細書、契約書案

ア 販売物件明細書：東京神奈川森林管理署又は東京神奈川森林管理署ホームページで閲覧して下さい。

イ 契約書（案）：東京神奈川森林管理署で閲覧して下さい。

東京神奈川森林管理署のホームページアドレス

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tokyo_kanagawa/index.html

- (2) 各規程等

ア 国有林野事業林産物売買契約約款

イ 国有林野の産物売払規程

ウ 関東森林管理局署等競争契約入札心得

エ 各種様式（別紙 1：委任状、別紙 2：入札書）

上記ア～エは関東森林管理局のホームページにて閲覧できます。

関東局ホーム>公売・入札情報>林産物の売払情報
ホームページを閲覧できない方は、東京神奈川森林管理署・業務グループ（経営担当）へお問い合わせ下さい。

関東森林管理局のホームページアドレス

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/welcome/index.html>

15 その他留意事項

- (1) 入札参加者は、入札書の提出をもって「暴力団排除に関する誓約事項」（別紙3）に同意したものとします。
- (2) 本物件は、売買契約書において「持続可能な森林経営が営まれ、伐採に当たって森林に関する法令に照らし手続きが適正になされた森林の立木である」ことを証明します。なお、この記載内容をもって木質バイオマス証明となります。
- (3) 発電用バイオマス証明に関しては、買受人自らが本売買契約書の写しを添付し、任意様式により証明して下さい。

16 お問い合わせ

不明の点は、下記までお問い合わせ下さい。

〈問合せ先〉

東京神奈川森林管理署 業務グループ（経営担当）

電話番号 0463-32-2867

お知らせ

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、当ホームページの「発注者綱紀保持対策に関する情報等」をご覧ください。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/koukihoji/index.html>

特約事項

【共通事項】

- (1) 作業にあたっては、円滑な事業実行のために、あらかじめ担当森林官と打合せを行っただうえで開始してください。また、作業着手前に「立木販売箇所の作業計画届」(別紙4)を担当森林官へ提出してください。
- (2) 伐採区域を十分に確認のうえ、伐採を開始してください。伐採区域について不明な箇所がある場合は、必ず担当森林官へ確認してください。
- (3) 作業終了時は、事前に担当森林官に連絡し、必要に応じて現地を確認を受けてください。
- (4) 公売物件の販売対象木は、全て伐倒し、搬出してください。
- (5) 公売物件の搬出等に支障となり伐採が必要となる立木が存在するかを現地案内の際や物件購入後に必ず確認をしてください。なお、その搬出等支障木が分収林等で第三者の権利が存在する場合などには伐採を認める事ができませんので、現地案内等の際に森林官へご確認ください。

なお、搬出等支障木の伐採量は、公売物件の材積の5%を超えることはできません。

また、搬出等支障木は、収穫調査・販売・代金納付(引渡)後に伐倒・搬出することを原則としていますので、支障木が発生した場合(支障木の発生が予想される場合を含む。)には、速やかに担当森林官に連絡するようお願いいたします。

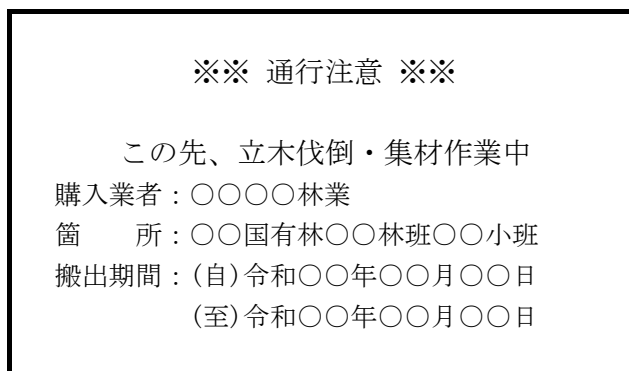
なお、公売物件区域内外の保安林内支障木伐倒並びに土地の形質変更行為については、手続きに1ヶ月以上かかる場合があることを予めご承知おき願います。

- (6) 作業道などの路網を作設する場合は、あらかじめ担当森林官と打合せのうえ、別紙「森林作業道特記仕様書」に従い作設することとしてください。特に、作設中及び木材搬出中に公道や溪流・河川等に土砂や土石が流出・転落などしないように必要な対策を確実に行ってください。

また、搬出完了後に土砂や土石の流出等の恐れがある場合は、搬出完了届の提出前までに盛土部分の原状回復や水切りの作設等必要な措置を講じてください。

- (7) 各作業の実行に当たっては、安全作業を心掛けていただくとともに、歩行者や狩猟者が誤って区域内に立ち入らないように、林道入口や、作業箇所周辺及び歩道沿いなどに「この先、伐倒・集材作業中」などと表示した看板を必ず掲示するようお願いします。

看板 例



- (8) 狩猟期間及び有害鳥獣駆除等の際には、国有林内で猟銃が使用される場合があります。関係猟友会等には、当署から「〇〇国有林〇〇林小班で作業予定あり発砲に注意されたい」旨の通知をすることとしていますが、作業箇所の周囲には「作業中発砲禁止」と表示した看板を必ず掲示するようにしてください。

- (9) 林道の状況によっては車両制限をお願いする場合があります。予めご了承ください。また、工事や造林事業等の車両の通行に支障がないようにお願いします。

- (10) 歩道及び伐採区域界沿いは、伐採完了後に歩行の支障とならないように適切に処置してください。

また、伐採種が皆伐の箇所は、伐採跡地を更新（苗木植栽）する際には、獣害防護柵を設置しますので、伐採区域の外周から内側方向へ約2mの間には、枝条等を積み上げないでください。

- (11) 公売物件内及び外縁・周辺には、国有林の土地境界標や基準点が設置されている場合があるので、これらの標識の有無を現地確認や打ち合わせの際などに担当森林官へ確認し、これらの標識が設置されている場合には、森林官の指示に従い必ず保全措置を取ってください。

なお、誤ってこれらの標識を毀損等してしまった場合は、買受人の経費負担により測量等（当署が指定する方法）のうえ復元していただく事となりますので、十分ご注意ください。

- (12) 各法令を遵守すると共に、火気等の取扱いには十分注意してください。

- (13) その他、現地案内及び打ち合わせ等の際に、森林官の説明・指示を受けてください。

別添

分収育林についてのご注意（特約事項）

【1号物件】

本物件は分収育林として募集した林分のため、国の他に多数のオーナーがそれぞれの持分に応じた権利を有しております。

つきまして、通常の立木公売と代金納入方法が異なりますので、下記の内容を了承のうえ、入札に参加して下さい。

記

- 1 代金の延納 契約代金が150万円以上の場合、国の分収金に対してのみ入札のご案内「12 代金の延納」のとおり認めます。
各オーナーに対する分収金支払い（振込）の延納は出来ません。
- 2 物件の引渡 国及び各オーナーへの代金が完納（確認）した日から、15日以内です。（国への代金支払いが延納の場合には、延納担保の提供日）
- 3 納入の方法 売買代金の総額を、国及び各オーナーとの持ち分割合（契約口数）で分割し、国へは納入告知書により、各オーナーには口座振込によりお支払いいただきます。

各オーナー毎の振込金額並びに口座番号等は、売買契約時にお知らせします。なお、この情報には個人情報も含まれていますので、取り扱いには十分に注意してください。

ただし、オーナーの口座に売買代金が振込めない場合は、現金書留（本人限定受取）により郵送し、更に受取りがない場合には、オーナーの住所地を管轄とする法務局あてに供託金として電子（ゆうちょ銀行）又は現金により納付していただきます。
- 4 振込等経費 振込等にかかる手数料については、予定価格から控除してあります。
- 5 振込の確認 各オーナーへの振込期限は、国への納入期限の日と同一日とし、振込後は振込証明書写し等、各オーナーへの振込を完了した証明となる書面を東京神奈川森林管理署へ提出していただきます。

特記仕様書

本特記仕様書は、「森林作業道作設指針」（平成22年11月17日付け22林整整第656号林野庁長官通知）に基づき、地形・地質、気象条件やこれまでの関東森林管理局管内における路網施工状況等を踏まえ定めたものである。

作設する路網は間伐等による木材の集材・搬出、主伐後の再造林等の森林整備に継続的に用いられる森林作業道であり、路体は堅固に締め固めた土構造を基本に、構造物は地形・地質等の条件からやむを得ない場合に限り設置することとし、本特記仕様書により作設する。

なお、本特記仕様書に指定していないものについては、森林作業道作設指針（<http://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/sagyoudo/romousuisin.html>）によることを基本とする。

第1 路網

1 配置

路網は、フォワーダ等車輛系林業機械（以下、林業機械等という）が安全に走行でき、かつ作業システムの効率性が効果的に発揮されるよう次の点に留意し配置する。

- ①地形・地質の安定している安全な個所を通過するよう配置する。
- ②地形に沿った屈曲線形となるよう配置する。
- ③排水を考慮した波形勾配となるよう配置する。
- ④急勾配区間とカーブの組合せは極力避けるよう配置する。
- ⑤S字カーブは連続して設けないようにし、カーブ間に直線部を設けるよう配置する。

2 幅員

幅員は、3 m以下とする。ただし、林業機械等を用いた作業の安全性及び、作業性の確保に必要な区間に限って、0.5m程度の余裕を付加することができる。

3 勾配・排水

縦断勾配は、土質や使用する機械の能力等を考慮し、集材又は苗木等の運搬作業を行う林業機械等が、木材等を積載し安全に上り走行・下り走行ができる、勾配で計画する。

横断勾配は、原則として水平とするが、水平区間など危険のない場所で、横断勾配の谷側をわずかに低くする排水方法を採用する場合は、必要に応じて丸太等による路肩侵食保護工、盛土のり面の保護措置をとる。

特に、木材積載時の下り走行におけるブレーキの故障や、雨天や凍結時のスリップによる転落事故を防止するため、カーブの谷側を低くすることは避ける。

排水は、縦断勾配を緩やかな波状にすることにより、こまめな分散排水を行うこととし、排水先は安定した尾根部や常水のある沢にする等して、路面に集まる雨水を安全、適切に処理するとともに次の点に留意する。

- ①カーブ区間に係る排水は、カーブ上部の入り口付近で行う。
- ②地下水の湧出又は地形的な条件による地表水の局所的な流入又は滞水がある場合には、これらを側溝又は横断排水施設等により排水する。

第2 施工

1 切土

切土高は、ヘアピンカーブの入口など局所的にやむを得ない場合を除き、1.5 m程度以内とする。

切土のり面勾配は、直切りを標準とする。ただし、切土高が高くなる場合、または、土質に応じて6分（岩石の場合は3分）とする。

2 盛土

盛土については、地山を段切りして基盤をつくった上で、30cm程度の層ごとにバケット及び履帯を用いて十分に締め固める。

なお、緊密度の低い土砂の場合は、盛土・地山を区分せず、路体全体を30cm程度の層ごとに締め固め、路体全体として十分な強度をもたせる。

盛土のり面勾配は、概ね1割とする。盛土高が2 mを超える場合は、1割2分程度とする。

ヘアピンカーブの盛土箇所では、締め固めを繰り返し行ったり、構造物を設けるなどして、路体に十分な強度をもたせる。

盛土の土量が過不足する場合は、山側から谷側への横方向での土量調整だけでなく、前後の路床高の調整など縦方向での土量調整も行う。

3 簡易構造物等

構造物は、安全確保の観点や地形・地質等の制約から、やむを得ない場合にのみ設置する。その場合、転石等現地発生資材の活用を図りつつ、利用の頻度やコスト等を考慮して適切なものを選定する。

4 伐開

伐開は、作設箇所ごとにおける斜面の方向、風衝等を考慮し、必要最小限の幅とする。

第3 周辺環境への配慮

森林作業道は、人家、道路、鉄道その他重要な保全対象（以下、人家等という）又は水道の取水口が存在する場合は、その直上では極力作設しない。

事業実行中は、人家等に対し、土砂の流出、土石の転落及び伐倒木等の落下を防止するために必要な措置を講じる。

また、希少な野生生物の生息・生育情報を知ったときは、監督職員に報告し、指示を受ける。

第4 その他

1 表土、根株の扱い

根株やはぎ取り表土は、盛土のり面保護工用の資材として利用する。表土は心土と交互に概ね30cm 毎の層毎にバケット等で十分締め固めて盛土法面に固定する。根株は、表土や心土等とともに十分締め固めるとともに作業に支障のないように固定する。

根株の上に根株を幾つも重ねて積み上げることや、根株を丸ごと路体内に完全に埋設することは、締め固めが難しくなるので避ける。また、土質、根株の大きさ、集材方法、山腹傾斜等から、盛土のり面保護工用の資材に向かない場合は、安定した状態にして自然還元利用等を図る。

2 事業終了時において、洗掘を防ぐための水切りを登坂部分等に入れる。

委 任 状

代理人氏名

上記の者を私の代理人と定め、下記権限を委任します。

記

- 1 入札年月日 令和 年 月 日
- 2 立木の資格付一般競争入札に関する一切の件

令和 年 月 日

住 所

商号又は名称
代表者氏名

分任契約担当官
東京神奈川森林管理署長 殿

注意： 1. 代理人が入札を行う場合は、必ず委任状を提出してください。

(社内の従業員等が入札を行う場合も委任状が必要です。)

なお、当該年度を有効とする年間委任状（別紙 1 - 2）を提出し、その代理人に入札させる場合は、本委任状を提出する必要はありません。ただしその場合には、各森林管理署・森林管理事務所ごとに委任状の提出が必要となります。

2. 本様式は標準例を示したものであり、上記事項が記載された適宜の様式を使用しても差し支えありません。

委任状

私は、都合により _____ を代理人と定め、下記の権限を委任します。

委任事項

- 1 立木の資格付一般競争入札に関する一切の件
- 2 委任期間
令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日から令和 5 年 3 月 31 日

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

住 所

商号又は名称
代表者氏名

分任契約担当官
東京神奈川森林管理署長 殿

注意： 1. 必要に応じて委任事項を追加してください。

(例：「契約に関する一切の件」、「代金の請求及び支払いに関する一切の件」など)

2. 委任期間の終期は、委任始期が属する年度の末日（次の3月31日）としてください。

3. 本様式は標準例を示したものであり、上記事項が記載された適宜の様式を使用しても差し支えありません。

入 札 書

入札番号 第 号

億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円

ただし、上記金額は消費税相当額を除いた金額であるので、契約額は上記金額に消費税相当額を加算した金額となること及び関東森林管理局署等競争契約入札心得を承知のうえ、入札します。

令和 年 月 日

分任契約担当官
東京神奈川森林管理署長 殿

(入札者)
住 所

商号又は名称
代表者氏名

(代理人)
氏 名

- 1 金額は、円単位とし、アラビア数字を持って明記すること。
- 2 代理人による入札の場合は、競争入札参加資格者の「住所」及び「商号又は名称」と「代理人の氏名」を記入すること。

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記 1 及び 2 のいずれにも該当せず、また、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴署の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）を警察に提供することについて同意します。

記

1 契約の相手方として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 契約の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

上記事項について、入札書の提出をもって誓約します。

立木販売箇所の作業計画届

令和 年 月 日

森林官 殿

買受者の所在地:

名称:

代表者氏名:

TEL:

事業担当者(責任者)		氏名:	TEL:		
売買物件	契約方法等	公売 ・ 随契 売買契約月日 令和 年 月 日			
	売買物件所在	国有林 ・ 官行造林 林小班 号山			
	契約数量	面積:	ha、樹種:	、材積:	m ³
	伐採方法	皆伐 ・ 間伐 ・ その他()			
伐採搬出計画	作業の形態	自社 ・ 下請 ・ その他()			
	作業期間	(自) 令和 年 月 日 ~ (至) 令和 年 月 日			
	搬出方法	車両系集材 ・ 架線系集材 ・ その他()			
	従事作業員の内訳	従業員数 名 (常雇 名 臨時 名)			
	下請等の場合の相手方の住所・氏名・電話番号	住所:			
		名称:			
代表者:					
TEL:					
現場責任者等の氏名	現場責任者の氏名等	氏名:	TEL:		
		住所:			
	林業架線作業主任者	氏名:			
	地山掘削作業主任者	氏名:			
	車両系建設機械運転	氏名:			
	かかり木の処理業務	氏名:			
法令等制限確認	<input type="checkbox"/> 保安林【立木伐採】				
	<input type="checkbox"/> 保安林【形質変更】				
	<input type="checkbox"/> 鳥獣保護区(特保)				
	<input type="checkbox"/> 自然公園(特別地域)				
	<input type="checkbox"/> 自然環境保全地域				
	<input type="checkbox"/> 特別名勝				

※記載事項は、労働基準監督署へ情報提供する場合があります。

現地案内日程表

入札番号	集合時間	集合場所	案内者	連絡先
1号	令和5年1月12日(木) 午前10時00分	小倉山林道ゲート (県道65号線側)入口 相模原市緑区根小屋 (マップコード: 251 529 339*10)	津久井森林事務所 森林官 宮下	TEL 042-784-1181 (津久井森林事務所) TEL 0463-32-2867 (東京神奈川森林 管理署)

※ 注意事項

1. 現地案内に参加を予定される方は、前日までに東京神奈川森林管理署または津久井森林事務所までご連絡願います。
- 雨天決行いたしますので、雨具等は参加者各自でご用意ください。また、保護具等についても参加者各自で準備し、着用してください。
- 林道は、一般の乗用車では通行が困難な場所もございますので、悪路等走行可能な車でご参加ください。なお、バンク等の非常事態にも対応できるように、車止め、牽引ロープ、スペアタイヤ等のご準備もしておいてください。
- 当日参加できない方で、改めて現地案内をご希望される方は、東京神奈川森林管理署または所轄の森林事務所にご連絡ください。なお、土曜日、日曜日、祝日は休日となり、業務を行っておりませんのであらかじめご了承ください。また、無断での入林はご遠慮ください。

1号物件 現地案内集合場所地図



入札番号 1号物件
【現地案内集合場所】
小倉山林道ゲート
(県道65号線側) 入口
(マップコード: 251 529 339*10)

入札結果

入札 番号	入札 枚数	2 番 札			1 番 札		落 ・ 否
		金 額	氏 名	金 額	氏 名	金 額	
1							
2							
3							
4							
5							

公売物件(入札番号1号)
280い2林小班 皆伐 2.66ha

樹 材 種 別 一 覧 表

復命書番号 : 04 - 3001
林班 : 280森林事務所 : 津久井森林事務所
小班 : い 2国有林名 : 西志田山 8 1 3
伐区 :

樹 種 名	材 種 分	生 被 別	態 様 区 分	品 質 区 分	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹 材 積	平 均 木 材 積	控 除 有 無
スギ	一般材	生立木	生立木		24	17	1	0.37	0.370	無
					26	19	1	0.49	0.490	無
					26	20	1	0.51	0.510	無
					28	18	1	0.53	0.530	無
					30	15	1	0.50	0.500	無
					30	18	1	0.60	0.600	無
					30	24	1	0.80	0.800	無
					32	18	1	0.69	0.690	無
					32	22	1	0.82	0.820	無
					32	24	1	0.89	0.890	無
					38	18	1	0.95	0.950	無
					38	28	1	1.43	1.430	無
					40	20	1	1.14	1.140	無
					44	26	1	1.70	1.700	無
				品質計			14	11.42		
			態様計		32	21	14	11.42		
		生被計					14	11.42		
	材種計						14	11.42		
	低質材	生立木	生立木		12	7	1	0.04	0.040	無
					14	9	1	0.07	0.070	無
					14	10	1	0.08	0.080	無
					18	5	1	0.06	0.060	無
					18	8	1	0.10	0.100	無
					18	11	1	0.14	0.140	無
					18	18	1	0.23	0.230	無
					20	10	1	0.16	0.160	無
					20	12	1	0.19	0.190	無
					20	18	1	0.28	0.280	無
					24	14	1	0.31	0.310	無
					24	20	1	0.44	0.440	無
					26	16	1	0.41	0.410	無
					28	20	1	0.59	0.590	無
					30	14	1	0.47	0.470	無
					30	16	1	0.53	0.530	無
					30	20	1	0.67	0.670	無

* 態様計の胸高直径、樹高は、平均胸高直径、平均樹高である。

樹 材 種 別 一 覧 表

復命書番号 : 04 - 3001
林班 : 280森林事務所 : 津久井森林事務所
小班 : い 2国有林名 : 西志田山 8 1 3
伐区 :

樹 種 名	材 種 区 分	生 被 別	態 様 区 分	品 質 区 分	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹 材 積	平 均 単 木 材 積	控 除 有 無
スギ	低質材	生立木	生立木	品質計			17	4.77		
			態様計		22	13	17	4.77		
		生被計					17	4.77		
	材種計						17	4.77		
- 樹種計 -							31	16.19		
ヒノキ	一般材	生立木	生立木	中玉	18	15	24	4.80	0.200	無
					20	15	68	16.32	0.240	無
					22	16	110	33.00	0.300	無
					24	16	170	59.50	0.350	無
					26	17	247	106.21	0.430	無
					28	18	235	124.55	0.530	無
					30	18	183	107.97	0.590	無
					32	18	140	92.40	0.660	無
					34	19	111	86.58	0.780	無
					36	19	78	67.08	0.860	無
					38	20	49	49.00	1.000	無
					40	20	36	39.24	1.090	無
					42	20	14	16.66	1.190	無
					44	21	8	10.88	1.360	無
					46	21	9	13.23	1.470	無
					48	21	4	6.32	1.580	無
					50	22	3	5.37	1.790	無
					54	22	1	2.04	2.040	無
					62	24	1	2.87	2.870	無
				品質計			1,491	844.02		
			態様計		28	18	1,491	844.02		
		生被計					1,491	844.02		
	材種計						1,491	844.02		
	低質材	生立木	生立木		6	5	3	0.03	0.010	無
					8	7	4	0.08	0.020	無
					10	9	7	0.28	0.040	無
					12	11	48	3.36	0.070	無
					14	13	95	9.50	0.100	無
					16	14	158	23.70	0.150	無
					18	15	175	35.00	0.200	無

* 態様計の胸高直径、樹高は、平均胸高直径、平均樹高である。

樹 材 種 別 一 覧 表

復命書番号 : 04 - 3001
林班 : 280森林事務所 : 津久井森林事務所
小班 : い 2国有林名 : 西志田山 8 1 3
伐区 :

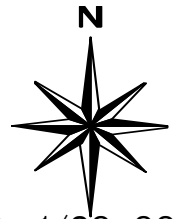
樹 種 名	材 種 区 分	生 被 別	態 様 区 分	品 質 区 分	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹 材 積	平 均 単 木 材 積	控 除 有 無
ヒノキ	低質材	生立木	生立木		20	15	190	45.60	0.240	無
					22	16	169	50.70	0.300	無
					24	16	117	40.95	0.350	無
					26	17	87	37.41	0.430	無
					28	18	38	20.14	0.530	無
					30	18	25	14.75	0.590	無
					32	18	16	10.56	0.660	無
					34	19	8	6.24	0.780	無
					36	19	2	1.72	0.860	無
					38	20	1	1.00	1.000	無
					44	21	1	1.36	1.360	無
					46	21	1	1.47	1.470	無
					58	23	1	2.43	2.430	無
				品質計			1,146	306.28		
			態様計		20	15	1,146	306.28		
		生被計					1,146	306.28		
	材種計						1,146	306.28		
- 樹種計 -							2,637	1,150.30		
アカマツ	低質材	生立木	生立木		44	14	1	0.92	0.920	無
					58	20	1	2.19	2.190	無
				品質計			2	3.11		
			態様計		50	17	2	3.11		
		生被計					2	3.11		
	材種計						2	3.11		
- 樹種計 -							2	3.11		
モミ	一般材	生立木	生立木		50	22	1	2.03	2.030	無
				品質計			1	2.03		
			態様計		50	22	1	2.03		
		生被計					1	2.03		
	材種計						1	2.03		
	低質材	生立木	生立木		6	4	1	0.01	0.010	無
				品質計			1	0.01		
			態様計		6	4	1	0.01		
		生被計					1	0.01		
	材種計						1	0.01		

* 態様計の胸高直径、樹高は、平均胸高直径、平均樹高である。

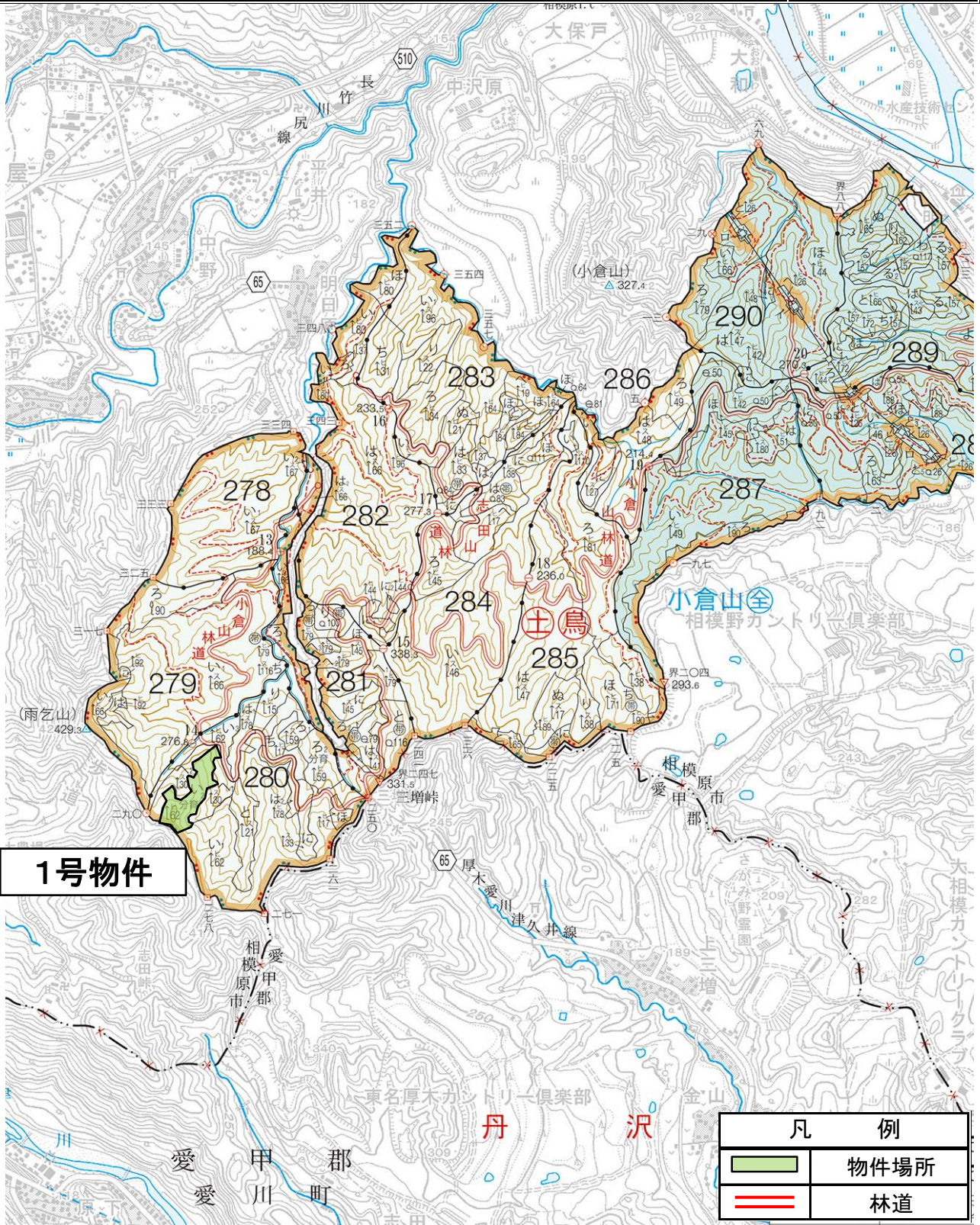
入札箇所位置図

入札番号1号物件

(所在) 相模原市緑区根小屋
西志田山国有林280い2林小班



S=1/20,000



1号物件

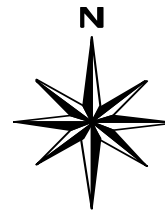
凡 例	
	物件場所
	林道

入札箇所位置図

入札番号1号物件

(所在) 相模原市緑区根小屋

西志田山国有林280い2林小班



S=1/5,000

